

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 7 日

評価対象事業	都調 - 02					世界遺産条約登録事業					☐ 法定受託事務	
所管課	都市調整部 都市景観課					評価者		都市景観課長 鈴木 庸一郎				
一般		会計	款	10	項	05	目	25				
総合計画上の位置付け		分野名		歴史的遺産と共生するまちづくり			施策の方針名		歴史的遺産と共生するまちづくり			

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産	意図	鎌倉の歴史的遺産を世界遺産一覧表へ記載するため。
効果	鎌倉の歴史的遺産を確実に後世へ伝えるとともに、古都としての風格を保った鎌倉らしいまちづくりに資する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	世界遺産登録に結びつく新たなコンセプトの構築に向けた調査・研究、神奈川県教育委員会主催の文化財保護ポスター事業の共催、構成資産候補のモニタリング調査、X（旧Twitter）による啓発活動	世界遺産登録に結びつく新たなコンセプトの構築に向けた調査・研究、神奈川県教育委員会主催の文化財保護ポスター事業の共催、構成資産候補のモニタリング調査、X（旧Twitter）による啓発活動	世界遺産登録に結びつく新たなコンセプトの構築に向けた調査・研究、神奈川県教育委員会主催の文化財保護ポスター事業の共催、構成資産候補のモニタリング調査、X（旧Twitter）による啓発活動
予算額（千円）	473	409	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	473	409	0
当初人員配置数	2.0	2.0	0.0
人件費（千円）	9,918	10,312	0
事業実績	近年の世界遺産登録の動向等に係る専門家への意見聴取・文献等を用いた調査研究、世界遺産登録に係る普及啓発のための文化財保護ポスター事業の共催、構成資産候補のモニタリング調査、X（旧Twitter）での発信		
決算額（千円）	360		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	360	0	0
人員配置実績数	1.4	0.0	0.0
人件費（千円）	4,694	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	文化財保護ポスター事業「世界遺産登録を目指す鎌倉部門」県内巡回展の実施回数	箇所	3	⇒	3		
活1	実績につながる活動	世界遺産の構成資産候補となる文化財（史跡等）を題材としたポスター事業を鎌倉市内のほか県内複数箇所にて実施し、世界遺産登録に係る普及啓発を図った。				0		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	巡回展を市内にとどまらず県内で実施することにより、世界遺産登録に係る普及啓発を着実に進めることができている点が評価できる。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	構成資産候補（史跡等）のモニタリング調査（定点観測）実施件数	箇所	28	⇒	28			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	世界遺産の構成資産候補である史跡等の保存状況を本事業を通じて定期的に確認することで、適切な保護につながっている。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	世界遺産の構成資産候補である史跡等の保護を進め、鎌倉特有の文化遺産の価値を明らかにし、魅力を発信することは世界遺産登録につながるものである。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒	評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
方向性	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

課題への対応		結果	具体的な内容
今後の取組方針（見直し方針）	前年度の新たな課題への対応結果	未解決	世界遺産登録に結びつく新たなコンセプトの構築に向けた検討を進めているが、登録に必要な「顕著な普遍的価値」を証明しうる新たなコンセプトの構築には至っていない。
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった	
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし	
	総評	・世界遺産登録に結びつく新たなコンセプトの構築に向け、市内にある文化財の調査・研究を教育委員会と協力して進めるとともに、世界遺産登録に係る情報の収集、専門家の意見聴取等を行い、中長期的な目標として世界遺産への登録を目指す。 ・世界遺産登録に関する市民等の理解の向上及び機運の醸成を図るため、引き続き県内の中学生を対象として実施する「文化財保護ポスター事業」を実施するほか、SNS等で市内の構成資産候補となりうる文化遺産等の情報発信を継続していく。	
			上位施策への寄与度
			B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項		世界遺産暫定一覧表記載の文化遺産の状況							
暫定一覧表記載の他の遺産	古都鎌倉の寺院・神社ほか	彦根城	飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連資産	北海道・北東北の縄文遺跡群	金を中心とする佐渡鉱山の遺産群	百舌鳥・古市古墳群	平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—（拡張）	宗像・沖ノ島と関連遺産群
実績		推薦に係る事前評価実施済	R8推薦中	H30登録	R3登録	R6登録	R1登録		H29登録
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		世界遺産への登録は、日本国が暫定一覧表に候補物件を記載し、世界遺産委員会への推薦を随時行っている。暫定一覧表に記載されている他の候補物件の登録に向けた動向や、世界遺産を取り巻く状況を把握していく必要がある。							